

鹿児島大学病院広報誌

だより

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部



11号

2008.10



《目次》

【診療科・部門紹介】

- ▶▶ 歯科総合診療部
- ▶▶ 血液浄化療法部
- ▶▶ 看護部
- ▶▶ 小児歯科

- 鹿大病院歯科診療棟 開院30周年記念『大開放』
- 歯科外来ご案内図
- キッズ外科手術体験セミナーを開催
- 新中央診療棟の地震対策について
- 錦江湾魚ごよみ
- 花火大会ライブ中継を実施

霧島山の紅葉(霧島市)

理念

鹿児島大学病院は、21世紀に輝くヒューマン・トータルケア病院の構築を目指し、医療人の育成及び医学・歯学の研究の充実と発展に貢献すると共に、常に患者さん本位の原点に立った、質の高い医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、安心して安全な納得のいく治療を心がけます。
2. 質の高い医療、先進的医療の充実を図り、地域の中核的医療機関として貢献します。
3. 教育・研修病院として、地域の医療機関との連携を図り、人間性豊かな使命感にあふれる医療人を育成します。
4. 診療を通じてわが国の医学・歯学の研究を推進し、医学・歯学及び医療の国際貢献を目指します。
5. 安全で効率の高い病院運営体制を確立します。

患者さんの権利と責務

〈患者さんの権利〉

1. 誰でも良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 人の尊厳は、医療行為のあらゆる場面において尊重されます。
3. 医学的な状態、診断、処置その他の個人情報保護されます。
4. 治療・検査の方法、薬の内容等について十分な情報と説明を受け、理解した後、同意・拒否を選択する権利があります。
5. 診療録等に記録された自己の診療内容について、本院の規則により、情報の提供を受ける権利があります。

〈患者さんの責務〉

1. 医療従事者が最善かつ適切な診療を行うために、自身の健康状態に関する情報をできるだけ正確に伝える責務があります。
2. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするために、院内の医療の妨げとならないように協力する責務があります。

一人の担当医が 総合的に歯科治療を行う

歯科総合診療部

歯科総合診療部は、一人の担当歯科医が総合的に歯科治療を行います。複数の診療科を受診する必要がなく効率の良い治療が出来ます。患者さんのご希望やお口の中の状態をよく診察し、全体的に治療計画を立て、患者さんにとって最適なスケジュールで治療ができるよう心がけています。むし歯・歯周病・入れ歯・歯並びなどの治療について、幅広い診療を行っています。



診療風景

また、むし歯や歯周病の予防など、お口の健康管理にも力を入れていますので、「お口にあった歯磨きの方法を知りたい」、「歯のクリーニングをしたい」などのご要望にもお応えします。

その他、紹介状をお持ちでない初めていらっしゃる患者さんの症状に応じて最適な診療科を紹介します。患者さんの気になっていることなどを、気軽にご相談いただけるような雰囲気作りを心がけています。

初診受付時間：月～金(9:00～16:00) TEL 099-275-6605

診療の流れ

医療面接

症状や治療についての希望などお話を伺います。

診察

歯と歯ぐきの状態を詳しく診察します。写真やお口の型をとります。

治療計画の説明

スケジュールを含めた治療計画をご説明します。

治療

治療計画に基づいて治療を行います。

治療法を駆使して 患者さんの治療に貢献する

血液浄化療法部

血液浄化療法部は、腎臓機能障害のため血液透析を必要とする患者さんの治療を中心とした診療部です。血液透析を受けられている患者さんは全国で275,119名、鹿児島県では4,790名(2007年)であり、10年前と比べて約1.5倍増です。当部では年間に約100名の患者さんに対し1,300回以上の治療を行っており、10年前と比較して約3.5倍増であることから、大学病院での手術や入院治療を必要とする疾患や合併症のある透析患者さんが増加していることが示されています。スタッフ一同は、患者さんの手術前後の管理や様々な検査・治療が安全かつ円滑に行われるよう診療に取り組んでいます。

また、これまで治療困難であった疾患の中には病因物質が特定され、様々な血液浄化療法で治癒可能な場合もあり、血液透析以外の治療も年間120回ほど行われています。最近では潰瘍性大腸炎、C型肝炎、閉塞性動脈硬化症などに対する血液浄化療法の依頼も増加しており、それぞれの治療法を駆使し、患者さんの治療に貢献することが当部の役割と考えております。



血液浄化療法部(透析室内の様子)



血液透析機と人工腎臓

鹿大病院 歯科診療棟 開院30周年記念『大開放』

[日 時] 平成20年11月22日(土) 9:00~17:00

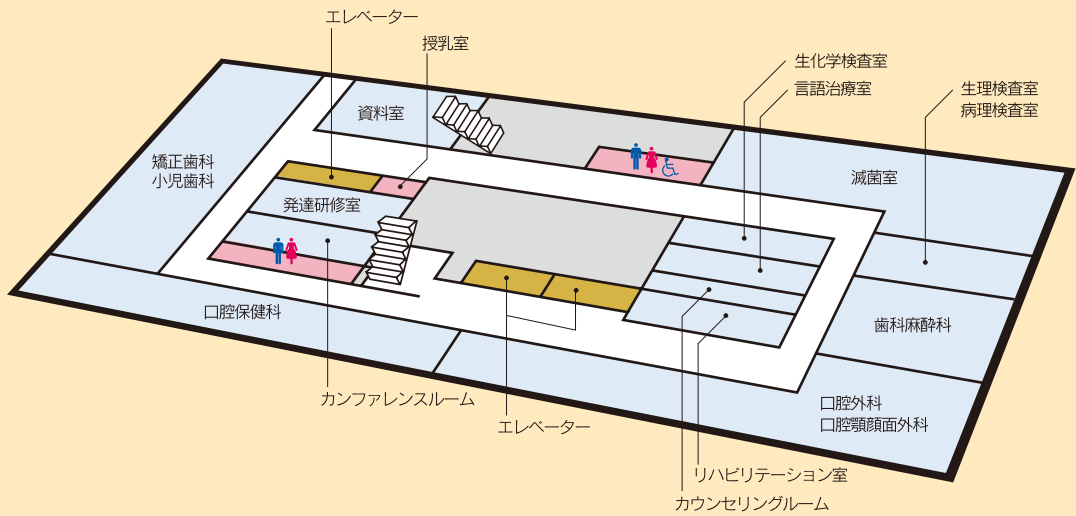
[イベント内容]

1. 病院見学(クイズに答えて歯ブラシゲット!) 場所:鹿児島大学病院 歯科診療棟
2. お口の無料検診(特典付き) 場所:鹿児島大学病院 歯科診療棟
3. 市民講座「自分で守ろうお口の健康」 場所:鹿児島大学医学部 鶴陵会館(桜ヶ丘キャンパス) 14:00~16:00
4. 歯学展(各種展示。指の型取りもあります)

歯科 外来

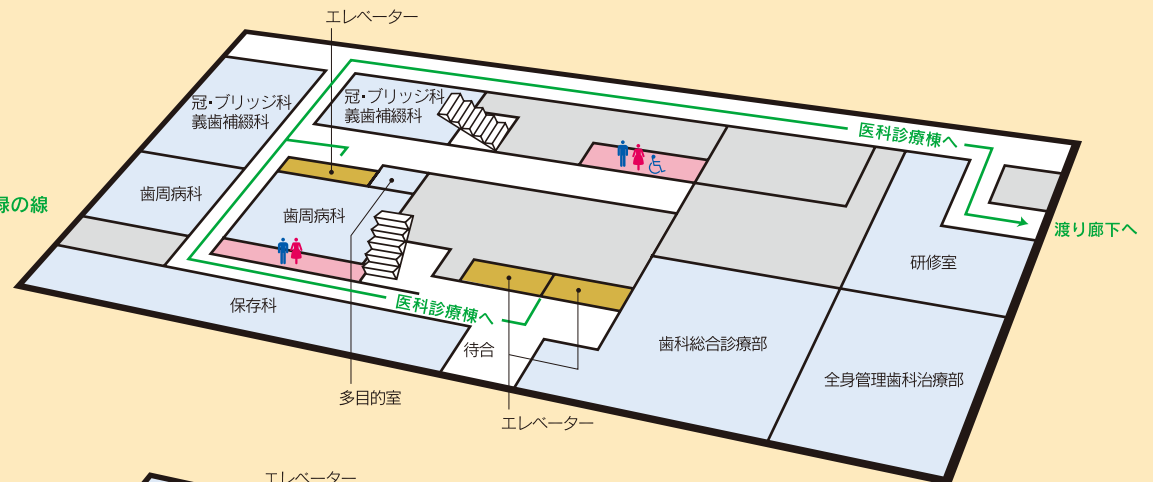
ご案内図

3F

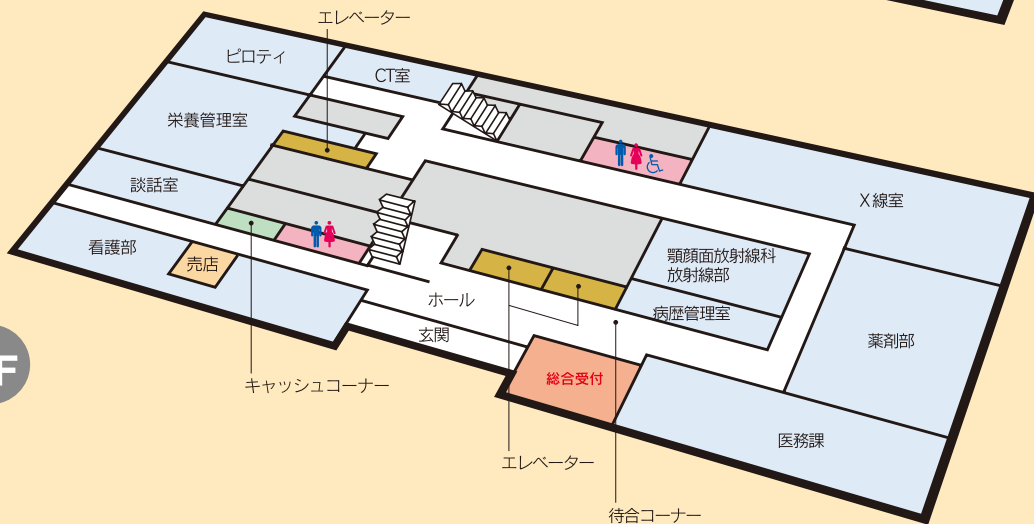


※医科診療棟へは、2階から緑の線に沿ってお進みください。

2F



1F



看護部

がん性疼痛看護認定看護師の仕事

がん性疼痛看護認定看護師は、がんによって生じる痛みを緩和するための専門的知識や技術を持った看護師で、患者さんやご家族が抱えている様々なつらさを、他の看護師や他職種と一緒に緩和することを役割としています。入院中の方だけではなく外来通院中の方も含め、すべての方を対象に以下のような活動を行っています。

1. 患者さんやご家族、医療スタッフから依頼を受け、お話をうかがい、アセスメント(状況の確認・評価)します。
2. 主治医や看護師、薬剤師と相談し、適切な薬剤の使用等について考えます。
3. 患者さんやご家族、医療スタッフに対し、痛みを緩和するための方法を指導いたします。

がんの痛みは、からだの痛みだけではなく、「どうすればよいのだろう」「これからどうなるのだろう」と未知の治療や経過に対する不安、仕事や家族に対する心配など、ここまでつらくさせてしまいます。

院内の緩和ケアチーム専属の看護師として活動していますので、お一人で悩まずに、下記のような症状やお困りのことがありましたら、ご相談ください。身体的な症状やその他の不安や心配を軽減する方法を一緒に考えていきましょう。

- ・ 痛み、息苦しさ、吐き気、体のだるさ、眠れないなど、身体に感じるつらい症状
- ・ 不安、気分が落ち込む、いらいらするなどのこころのつらさや問題
- ・ 告知や再発など、悪い知らせのあとの心のケアについて
- ・ 緩和ケアを受けられる施設、在宅ケアなどについて

相談方法…主治医や看護師にご相談ください。おうかがいいたします。

緩和ケア室：月～金(8:30～17:00) TEL 099-275-5978



TOPICS

キッズ外科手術体験セミナーを開催

鹿児島大学病院は、平成20年8月9日土曜日、桜ヶ丘キャンパス共通教育棟の教室において、鹿児島市内の中学生を対象にキッズ外科手術体験セミナーを実施しました。当日は8つの中学校から中学生26名及びその保護者が参加・見学し、本病院からは、病院長、手術室の医師・看護師がアドバイザーとして参加しました。この行事は、昨年からはまったもので、子ども達に大学病院にもっと親しみをもってもらうことや、現場の医療スタッフに触れることで医療への理解を深めてもらうこと、また、将来外科医をめざすきっかけを与えることなどを目的に企画されました。

セミナーでは、始めに高松病院長の講義があり、鹿児島大学病院の歴史や現在工事が進んでいる大学病院の再開発計画、外科手術室での実際の手術の様子などについてスライドを見ながら説明を受けました。

次に、中学生達は看護師や医師に手伝ってもらって手術着に着替え、キャップ、マスク、手袋などを装着、まるで本物の手術室スタッフのようないでたちで、糸結びや縫合、シュミレーターによる画面を見ながらの模擬手術など、用意された6つのコーナーを医師やスタッフの指導を受けながら体験しました。中学生達は、皆生き生きと作業に取り組み、最後に高松病院長からひとりひとりに修了証書が手渡されました。



超音波凝固切開装置を使った体験



高松病院長や医師等から糸結びのアドバイスを受ける中学生たち

小児歯科

子どもの噛む動きを客観的に評価する

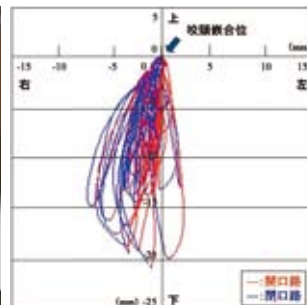
「よく噛んで食べなさい」、誰もが一度は言われたことがあると思います。噛むという行為は食物の素材本来の味を引き出す、唾液の分泌を促し消化吸収を高める、味覚や脳の発達を促すなど、子どもの発育にとっても重要な役割を果たしています。

最近、“噛めない子”、“噛まない子”が問題になっています。噛めない子とは、むし歯や外傷で歯がなくなってしまうたり、かみ合わせに問題があったりして、上手に噛むことができない子をいいます。一方、噛まない子とは歯や咀嚼をするための筋肉に異常はないのですが、噛むための機能が充分発達していない子をいいます。

小児歯科では噛む動きを客観的に評価するためにお子さまの顎運動検査(あごの動きを前・横・上からみて異常がないかを評価する)や咀嚼筋筋電図検査(あごの筋肉の動きを評価する)を行っています。うちの子は食べ物をうまく噛めないな、噛まないな、噛みかたがおかしいなと思われる方は、小児歯科(TEL 099-275-6630)までご相談下さい。



顎運動計測風景



顎運動を前からみた動き

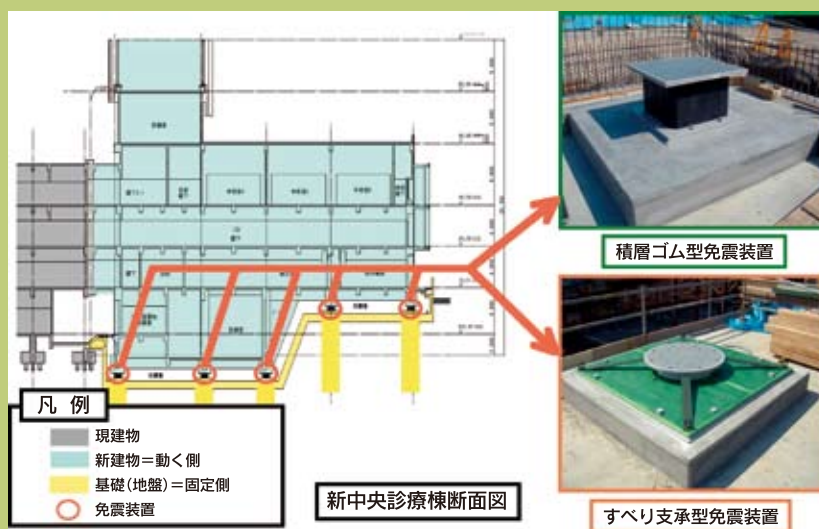
TOPICS

病院再開発 新中央診療棟の地震対策について

建物の地震対策工法は、耐震工法、制振工法、免震工法と呼ばれる3種類があります。平成21年6月完成予定の新中央診療棟はこの中の免震工法を採用し、もしもの場合の地震に備えています。この免震工法について施工業者の株式会社竹中工務店さんに教えていただきました。

Q:免震工法とは、どのような工法ですか？

A:新中央診療棟で採用されている免震工法とは、基礎の上に建物を支える免震装置を設置し、建物を基礎から絶縁(切り離し)することで、建物へ伝わる地震力を小さくする工法です。新中央診療棟の免震装置は、「積層ゴム型」と「すべり支承型」をバランス良く組み合わせたもので、建物の重さを支えながら水平にゆっくりしなやかに揺れるようにすることができます。



Q:震度7程度の地震が発生した場合、免震工法でどれだけ建物への影響を小さくできますか？

A:通常の耐震構造の建物では直接地震力が伝わりガタガタと速く揺れ、建物が損傷したり室内の家具が転倒するといった被害が発生します。しかし、免震工法を採用したこの建物は水平にゆっくりしなやかに揺れるため建物へ伝わる地震力が小さくなり、建物に大きな損傷は発生しません。また、室内の家具が転倒することはほとんどなくなると想定されます。

アラカブの闘い

夏休みも終わり、朝夕に秋の気配を感じる頃、私は海に向かいました。水温は、まだ真夏並みに高いのですが、海面越しの太陽の光はいくぶん弱くなり、海の中もどこかひっそりとしています。そんな頃、暑い季節を迎える魚がいます。鹿児島では、「アラカブ」の名で親しまれている、カサゴたちです。彼らの恋の季節がいよいよ始まるのです。

そこかしこの海底の溶岩の上で、オスたちが、辺りににらみをきかせます。彼らはおよそ5m四方のなわばりを作ります。そしてそのなわばりの中にいるメスと交尾し、繁殖を行うのです。他のオスがなわばりに近づくと、オスは猛然と追い払います。たいていは、体の大きいオスが勝つのですが、体の大きさが同じくらいのオスどうしが会おうと、ただではすみません。

一匹の若いオスが、なわばりを守るオスに近づきます。二匹は、威嚇しあいましたが、どちらも譲りません。たちまち砂煙をあげて、闘いが始まりました。互いに噛み合い、相手をねじ伏せようとします。力は五分五分、なかなか決着はつきません。20分後、敗れたオスが逃げていきました。なわばりを守りきったオスは、肩で息をしながら、胸を張りました。

普段は食卓でお目にかかる彼らも、海中ではそれぞれの「人生」を懸命に生きているのです。



なわばりを賭して闘う、若いカサゴのオス

TOPICS

花火大会ライブ中継を実施

鹿児島大学病院では、8月23日土曜日の夜、錦江湾サマーナイト花火大会のライブ中継が行われ、入院患者さんやその家族約150名が参加して、医科診療棟2階受付ロビーに設置された2カ所のスクリーン映像で花火大会の雰囲気を楽しみました。

このイベントは、NTT西日本鹿児島支店地域ふれあい促進室から地域貢献活動の一環として、鹿児島大学病院に申し出があったことを受けて実現したものです。当日は、各病棟の看護部スタッフが車いすの患者さんや小児科の患者さんなどを会場まで誘導し、財団法人親和会からお茶の差し入れもあり、くつろぎながらの鑑賞となりました。花火の休憩時間には、花火大会会場と病院を結んだラジオ番組の生放送があり、入院患者さんや看護師へのインタビューなども行われました。

参加した患者さんの中には、久しぶりに花火を見たという方や、家族と一緒に楽しんだ子ども達もおり、たいへん好評でした。今後も大学病院では、患者さんに喜んでいただけるような行事を企画していく予定です。



禁煙のお知らせ

鹿児島大学病院は、平成20年4月1日から病院施設及び敷地内禁煙を実施しています。敷地内(駐車場等)での喫煙・ポイ捨て等は行わないよう皆様のご協力とご理解をお願いいたします。

広報誌編集部会からのお知らせ

鹿児島大学病院の診療内容、病気的一般知識など知っておきたいことがありましたら、お知らせください。また、「桜ヶ丘だより」への皆様方からのご意見・ご感想をお待ちしております。

鹿児島大学病院広報誌 桜ヶ丘だより〈11号〉

2008(平成20)年10月発行

発行/鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部会
〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL 099-275-6692

【鹿児島大学病院ホームページアドレス】
<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/>